

2010年3月期
第2四半期決算説明会

2009年 11月 5日



日本軽金属株式会社

目次

1. 2010年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
2. 主要ユニットの事業環境と下期見通し
3. 次期中期経営計画の策定について

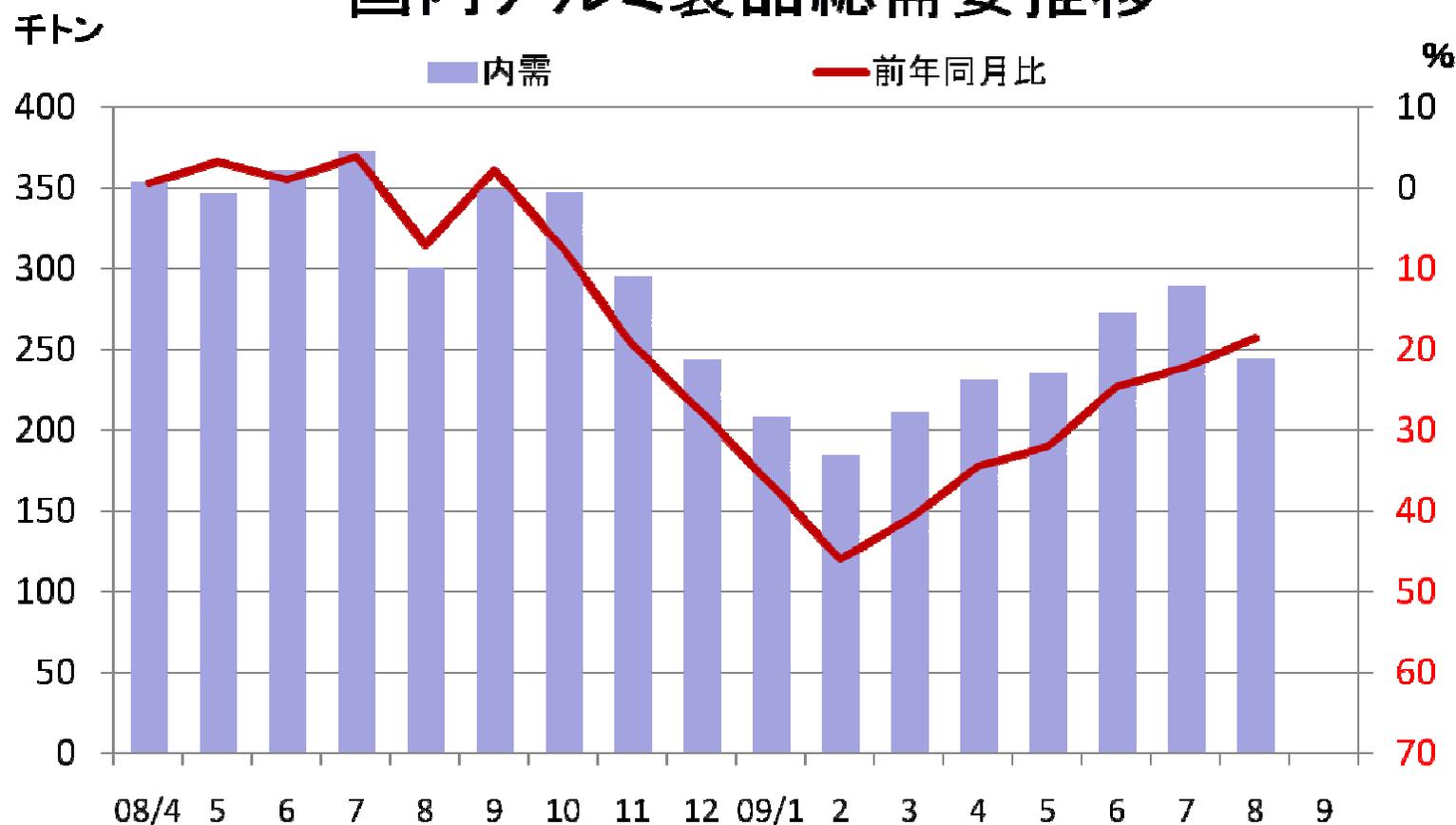
本資料における業績予想および将来の予想等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想と異なる場合がありますことをご承知おきください。

目次

1. 2010年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
2. 主要ユニットの事業環境と下期見通し
3. 次期中期経営計画の策定について

第2四半期決算のハイライト(1)

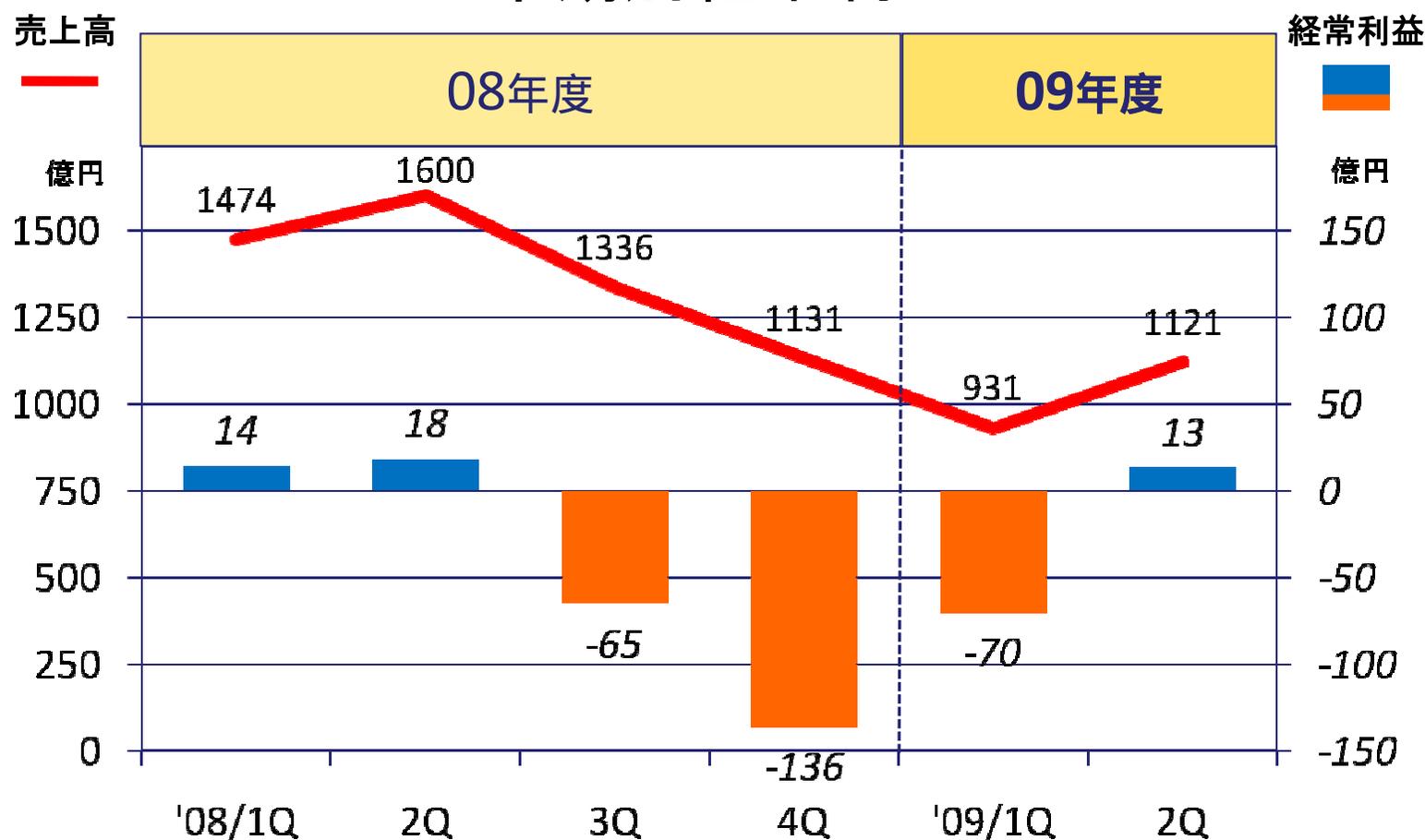
国内アルミ製品総需要推移



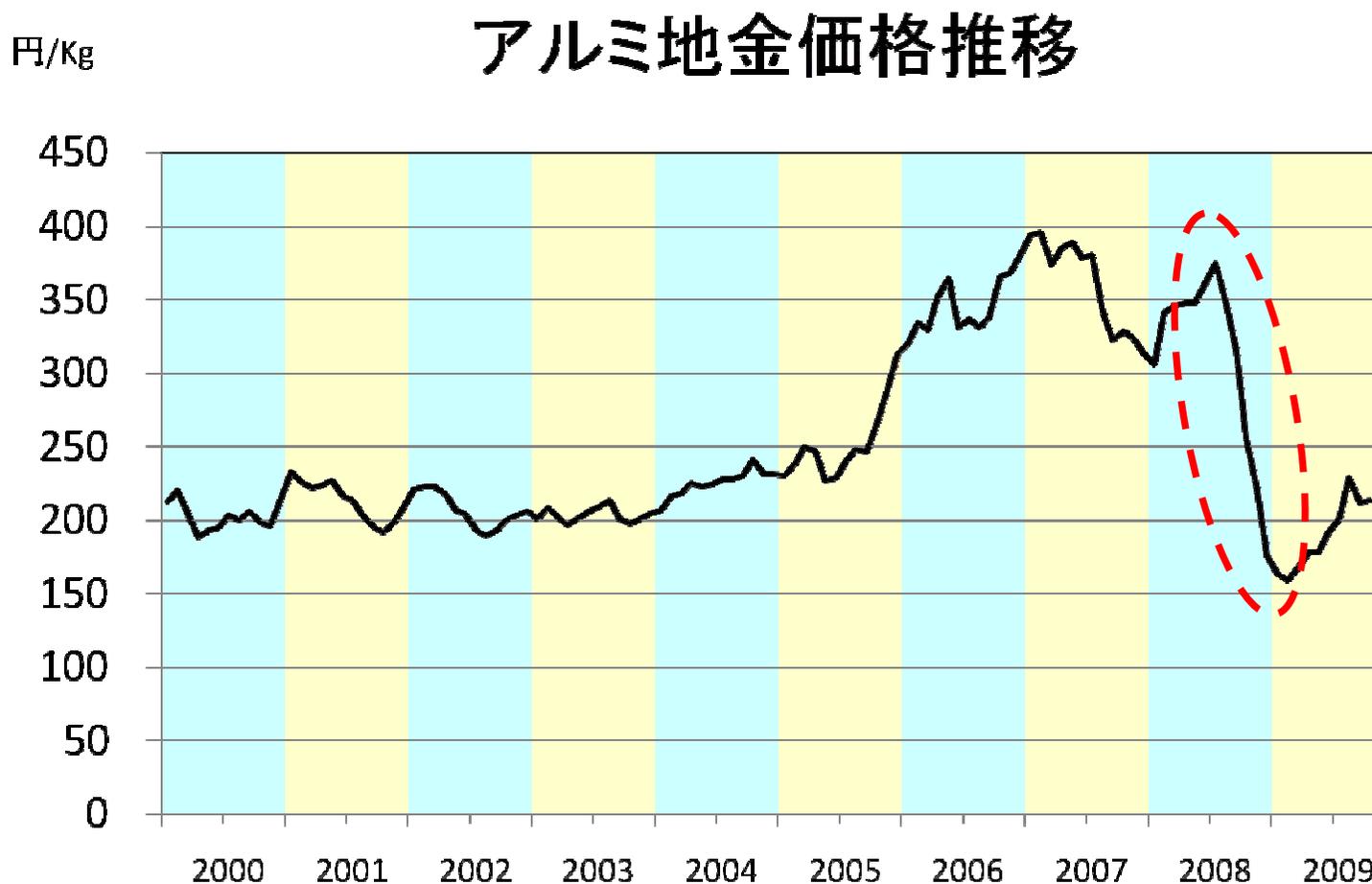
< 統計: (社)日本アルミニウム協会 >

第2四半期決算のハイライト(2)

四半期別経常利益



第2四半期決算のハイライト(3)



< 出所: 日本経済新聞 >

第2四半期決算のハイライト(4)

(億円)

	09/4-6 実績	08/4-6 実績	差異	09/7-9 実績	08/7-9 実績	差異
売上高	931	1,474	△543 (△36.8%)	1,121	1,600	△479 (△29.9%)
営業利益	△59	+20	△79 (-)	+27	+34	△7 (-)
経常利益	△70	+14	△84 (-)	+14	+18	△4 (-)
当期純損益	△64	△5	△59 (-)	+4	△1	+5 (-)

連結決算実績

(億円)

	09/4-9 実績	08/4-9 実績	前年同期比	09/4-9 期初予想	期初予想比
売上高	2,052	3,074	△1,022 (△33.3%)	2,100	△48 (△2.3%)
営業利益	△32	54	△86 (-)	△25	△7 (-)
経常利益	△56	32	△88 (-)	△60	+4 (-)
当期純損益	△60	△6	△54 (-)	△55	△5 (-)

売上高・営業利益 — 前年同期比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	09/4-9 実績	08/4-9 実績	差異	09/4-9 実績	08/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	404	765	△361 (△47.2%)	9	45	△36 (△80.9%)
板、押出製品	244	402	△158 (△39.4%)	△20	12	△32 (-)
加工製品、 関連事業	872	1,267	△395 (△31.1%)	15	51	△36 (△69.9%)
建材製品	532	640	△108 (△17.0%)	△23	△40	+17 (-)
管理・共通	—	—	—	△13	△14	+1
合 計	2,052	3,074	△1,022 (△33.3%)	△32	54	△86 (-)

売上高・営業利益 — 期初予想比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	09/4-9 実績	09/4-9 期初予想	差異	09/4-9 実績	09/4-9 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	404	460	△56 (△12.1%)	9	10	△1 (△13.4%)
板、押出製品	244	250	△6 (△2.5%)	△20	△5	△15 (-)
加工製品、 関連事業	872	840	+32 (+3.9%)	15	10	+5 (+51.8%)
建材製品	532	550	△18 (△3.4%)	△23	△25	+2 (-)
管理・共通	—	—	—	△13	△15	+2 (-)
合 計	2,052	2,100	△48 (△2.3%)	△32	△25	△7 (-)

経常利益

(億円)

	09/4-9 実績	08/4-9 実績	前年同期比	09/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	△56	32	△88	△60	+4

(億円)

前年同期比 △88億円 の内訳	
営業利益の減少	△86
その他(為替差損等)	△2

(億円)

期初予想比 +4億円 の内訳	
営業利益の減少	△7
持分法損益の改善	+8
支払利息の減少	+5
その他(為替差損等)	△2

当期損益

(億円)

	09/4-9 実績	08/4-9 実績	前年同期比	09/4-9 期初予想	期初予想比
当期損益	△60	△6	△54	△55	△5

(億円)

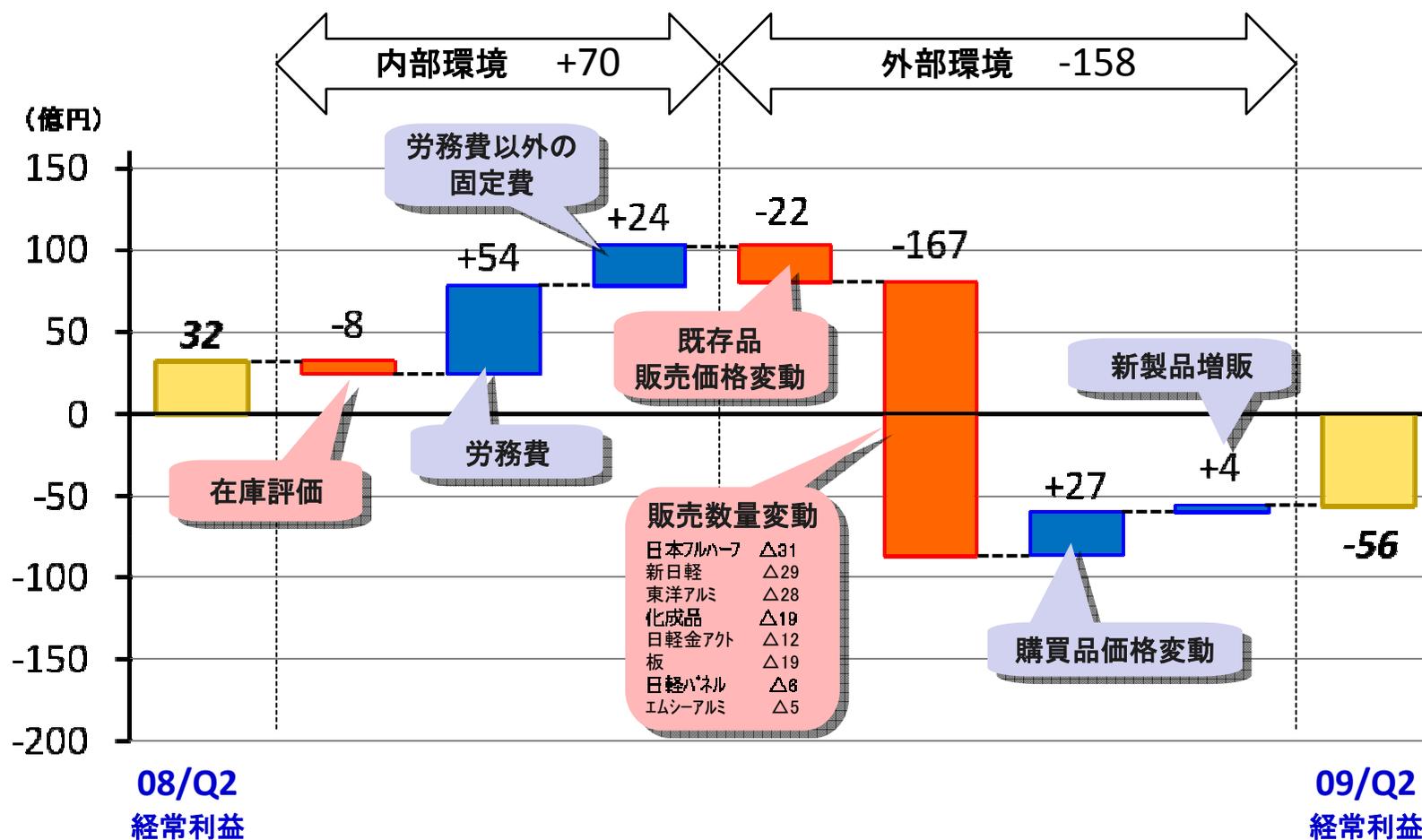
前年同期比 △54億円 の内訳	
経常利益の減少	△88
特別損失の計上	△6
税金費用の減少	+31
少数株主損失の増加	+9

(億円)

期初予想比 △5億円 の内訳	
経常利益の増加	+4
特別損失の計上	△6
税金費用の増加	△4
少数株主損失の増加	+1

経常利益変化要因

08年度第2四半期 +32億円 ⇒ 09年度第2四半期 △56億円 △88億円



キャッシュ・フロー計算書の概要

2009年度 第2四半期
 <源泉> <使途>

営業活動による キャッシュ・フロー 139億円 税引前当期純利益 △62 減価償却費 101 運転資金 134 特別退職金支払 △26	投資活動による キャッシュ・フロー 91億円
社債・借入金の増加等 23億円	現金・同等物の増加 71億円

2008年度 第2四半期

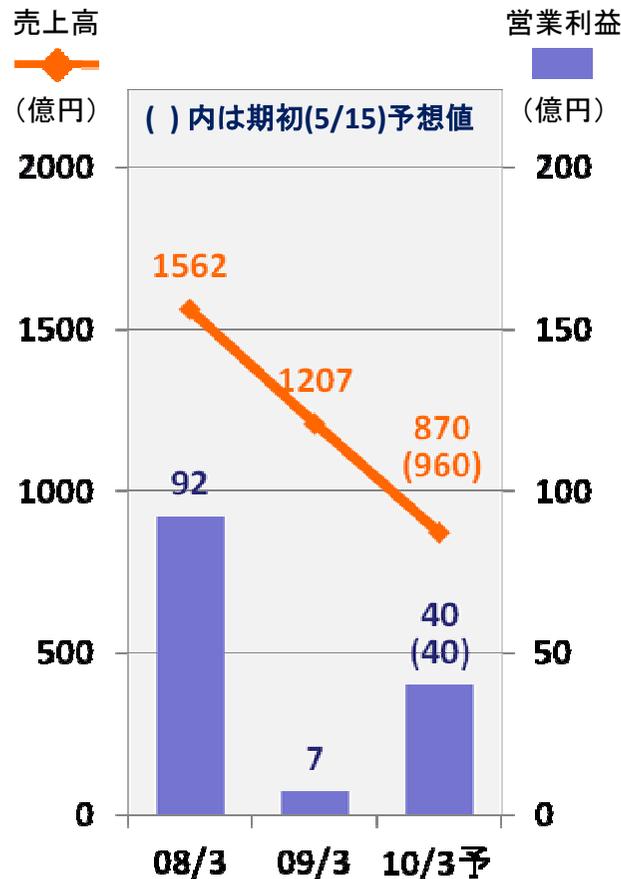
<源泉> <使途>

営業活動による キャッシュ・フロー 73億円 税引前四半期純利益 32 減価償却費 104 新日軽退職金支払 △38 法人税等支払 △14 その他 △11	投資活動による キャッシュ・フロー 103億円
現金・同等物の減少 36億円	配当金支払額 19億円
社債・借入金の増加等 13億円	

目次

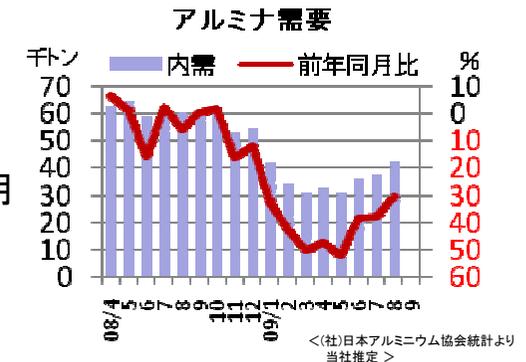
1. 2010年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
- 2. 主要ユニットの事業環境と下期見通し**
3. 次期中期経営計画の策定について

アルミナ・化成品、地金セグメント



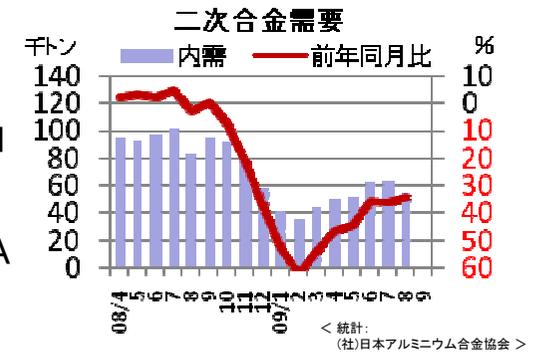
アルミナ・化成品

- アルミナ・水酸化アルミの出荷が全般的に低迷。円高により輸出も減少
- 下期は緩やかな回復を見込むが、汎用品分野で輸入品との価格競争激化
- 化学品は概ね堅調。価格是正に注力
- 2015年対応では、水酸化アルミサプライヤーとの交渉は最終段階に



日軽エムシーアルミ

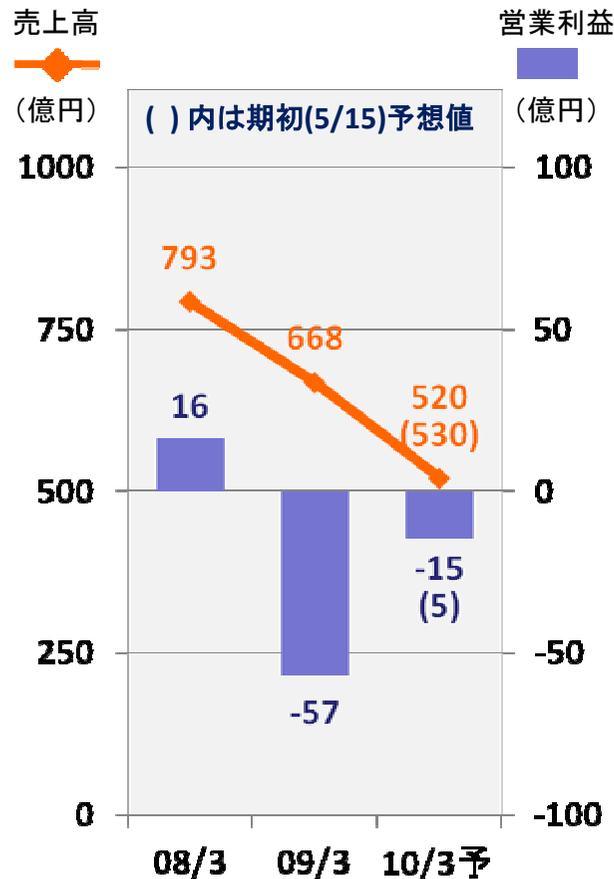
- 自動車生産の回復に伴い出荷が増加
- 国内1万トン/月体制でも黒字体質に
- 中国(NMA昆山)フル稼働、北米(NMAアメリカ)も8割まで回復。タイも改善



販売量 (千トン)

	09年度 上期			09年度 下期			09年度 合計		
	実績	前年	増減	見込	前年	増減	見込	前年	増減
国内	65.9	92.8	△29%	65.0	58.1	+12%	130.9	150.9	△13%
海外	36.4	47.4	△23%	44.0	27.2	+61%	80.4	74.6	+8%
合計	102.3	140.2	△27%	109.0	85.3	+28%	211.3	225.5	△6%

板、押出製品セグメント



板

- 上期は販売量減少が収益圧迫
- 製造装置向け厚板、建材向けが低迷続くが、箔地、電機・電子向けが回復
- 下期は地金ポジションの悪化も解消
- ニッケイ・サイアムが受注好調

販売量 (千トン)

	09年度 上期			09年度 下期			09年度 合計		
	実績	前年	増減	見込	前年	増減	見込	前年	増減
	33.4	45.8	△27%	37.7	29.0	+30%	71.1	74.8	△5%

板製品需要



日軽金アクト

- 鉄道車両が堅調だが、自動車部品、トラック架装部材は減少
- 下期は自動車部品が回復。トラック・エコカー補助金によりトラック部材も回復
- 中国2拠点はフル稼働

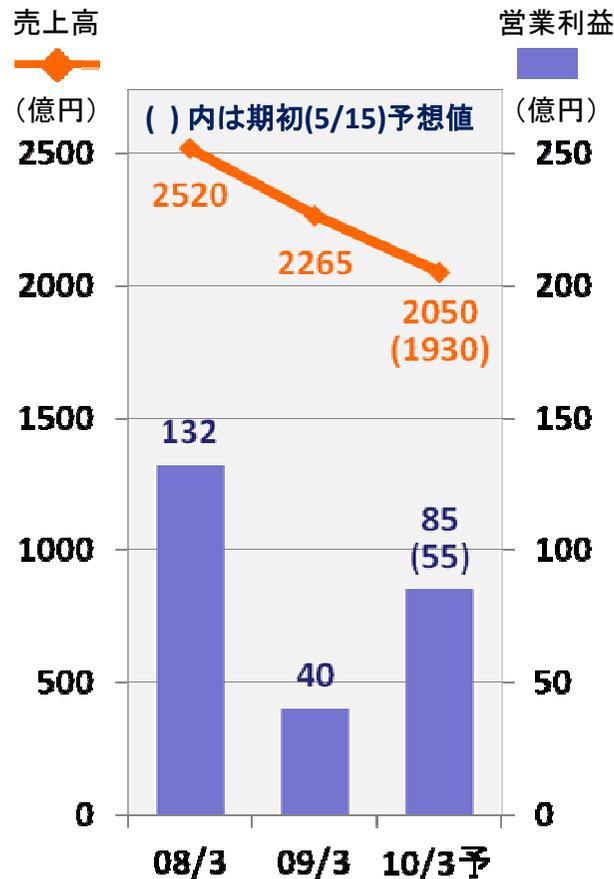
販売量 (千トン)

	09年度 上期			09年度 下期			09年度 合計		
	実績	前年	増減	見込	前年	増減	見込	前年	増減
	15.4	24.3	△37%	17.6	14.1	+23%	33.0	38.4	△14%

押出製品需要



加工製品、関連事業セグメント



東洋アルミニウム

<箔>

- コンデンサ箔、食料品、日用品回復
- 太陽電池用バックシートも第2四半期から好調

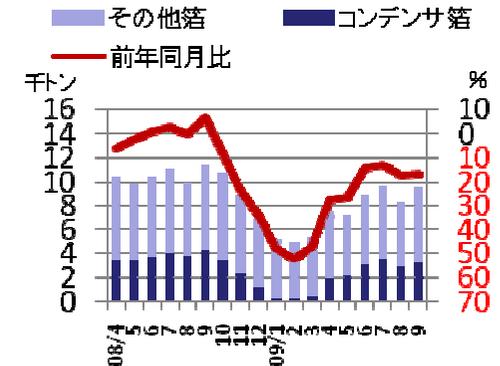
<粉末製品>

- 自動車塗料向けペースト回復
- 太陽電池用機能性インキが好調

日本フルーフ

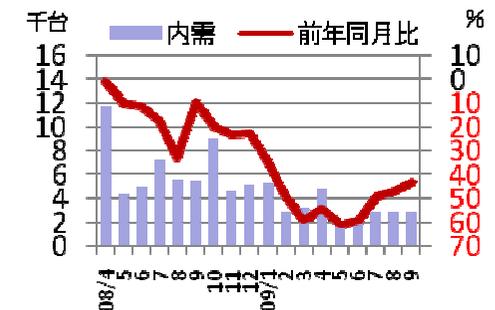
- 需要減対策は08年から実施
- ◆ 生産ライン縮小、人員削減
- トラック国内需要の低迷続くが、Q3はエコカー補助金効果も
- 新規事業(サービスビジネス)拡大
- 需要が底堅い温度管理車に注力
- 海外事業検討

箔製品需要



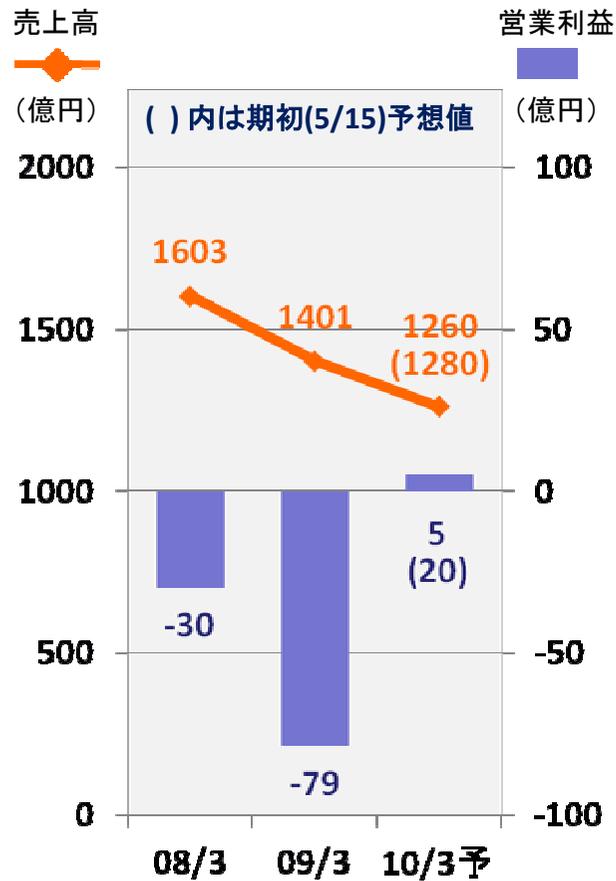
<統計: (社)日本アルミニウム協会>

普通トラック登録台数



<統計: (社)日本自動車販売協会連合会>

建材製品セグメント(1)



新日軽

09年度市場環境

住宅： 景気の先行き不透明感から、住宅購入マインドの冷え込み続く。
 ビル： マンション市況の低迷に加え、企業設備投資の抑制により事務所、店舗、工場の建設が減少。

新設住宅着工戸数



着工床面積(非木造)



構造改革の完遂

- ◆ 需要の更なる減少を想定した体制づくり
- ◆ 構造改革の推進(人員削減、生産拠点集約・再編、販売拠点再編)
- ◆ 徹底したコストダウンの推進

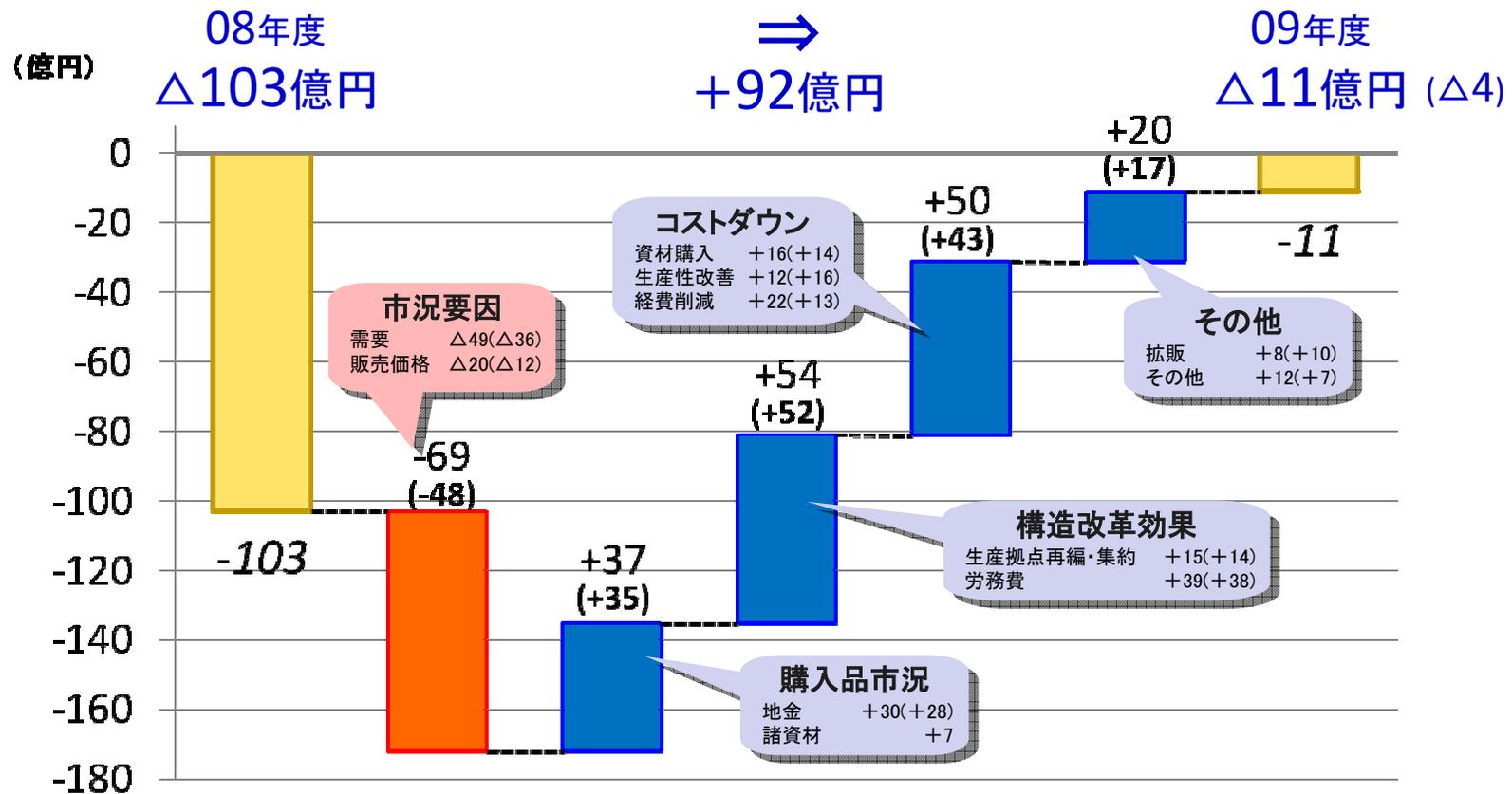
新日軽(株)の住生活グループへ完全譲渡合意

- ◆ 本年7月、完全譲渡で基本合意書締結。協議開始

建材製品セグメント(2)

新日軽経常損益変化要因

(): 期初予想値

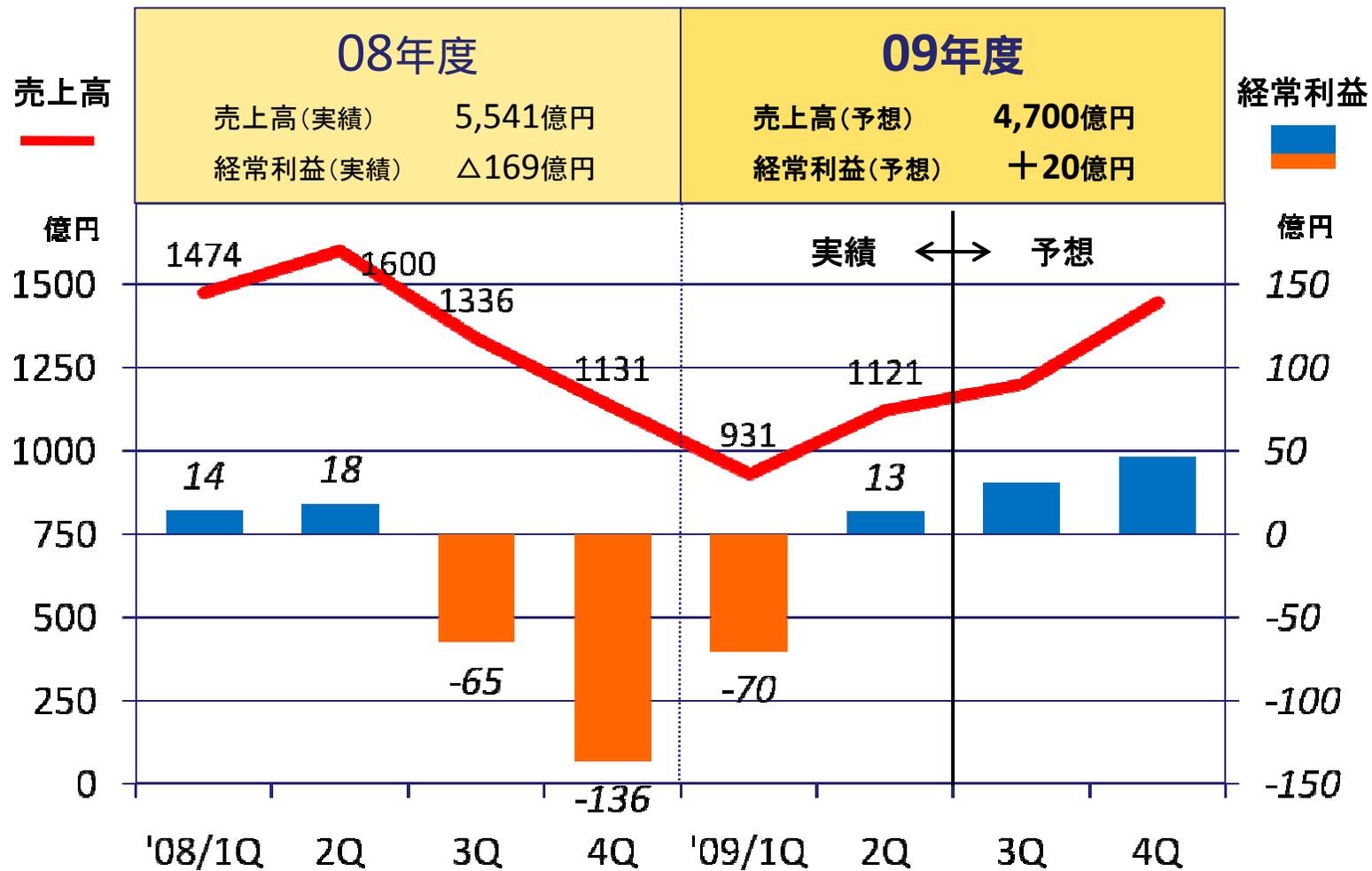


通期業績予想

(億円)

	10年3月期 予想	09年3月期 実績	比較
売上高	4,700	5,541	△841 (△15.2%)
営業利益	90	△119	+209 (-)
経常利益	20	△169	+189 (-)
当期純利益	5	△314	+319 (-)
有利子負債	2,250	2,313	△63 (△2.7%)

四半期別経常利益の推移



売上高・営業利益 — 期初予想比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	今回予想	期初予想	差異	今回予想	期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	870	960	△90 (△9%)	40	40	0 (—)
板、押出製品	520	530	△10 (△2%)	△15	5	△20 (—)
加工製品、 関連事業	2,050	1,930	+120 (+6%)	85	55	+30 (+55%)
建材製品	1,260	1,280	△20 (△2%)	5	20	△15 (△75%)
管理・共通	—	—	—	△25	△30	+5
合 計	4,700	4,700	0	90	90	0

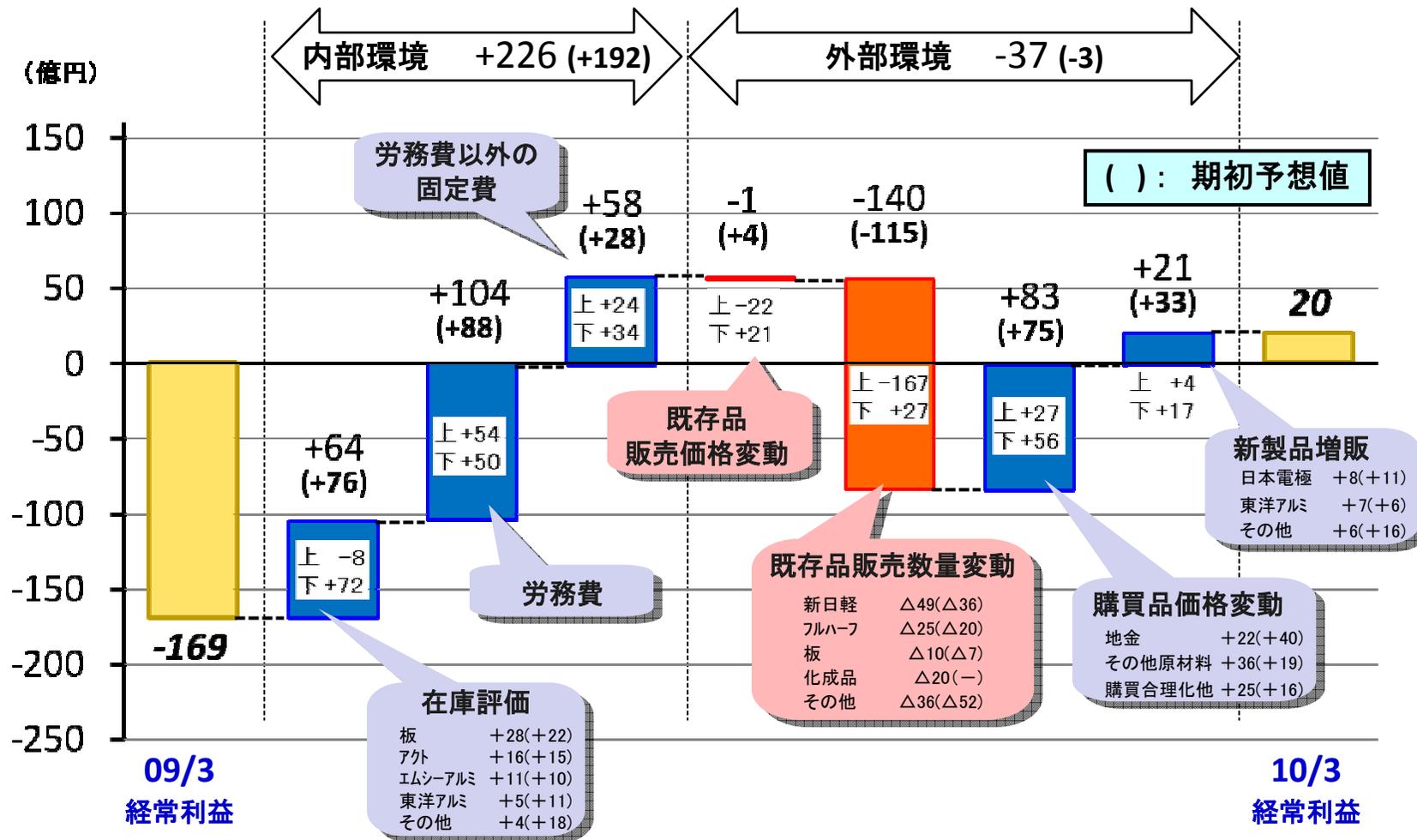
売上高・営業利益 — 前期比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	今回予想	09/3 実績	差異	今回予想	09/3 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	870	1,207	△337 (△28%)	40	7	+33 (+435%)
板、押出製品	520	668	△148 (△22%)	△15	△57	+42 (-)
加工製品、 関連事業	2,050	2,265	△215 (△10%)	85	40	+45 (+114%)
建材製品	1,260	1,401	△141 (△10%)	5	△79	+84 (-)
管理・共通	—	—	—	△25	△30	+5
合 計	4,700	5,541	△841 (△15%)	90	△119	+209 (-)

経常利益変化要因

09年3月期 $\Delta 169$ 億円 \Rightarrow 10年3月期 $+20$ 億円 $+189$ 億円



設備投資・減価償却費

(単位:億円)

設備投資	2009年度見込			期初計画			増減		
	上期実績	下期見込	年度見込	上期	下期	年度	上期	下期	年度
アルミナ・化成品、 地金	10	37	47	26	30	56	△16	+7	△9
板、押出製品	12	12	24	16	12	28	△4	0	△4
加工製品、関連 事業	27	71	98	38	59	97	△11	+12	+1
建材製品	10	8	18	11	9	20	△1	△1	△2
合計	59	128	187	91	110	201	△32	+18	△14

(単位:億円)

減価償却費	2009年度見込			期初計画			増減		
	上期実績	下期見込	年度見込	上期	下期	年度	上期	下期	年度
アルミナ・化成品、 地金	23	24	47	23	24	47	0	0	0
板、押出製品	22	20	42	21	20	41	+1	0	+1
加工製品、関連 事業	41	45	86	44	47	91	△3	△2	△5
建材製品	15	15	30	18	18	36	△3	△3	△6
合計	101	104	205	106	109	215	△5	△5	△10

目次

1. 2010年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
2. 主要ユニットの事業環境と下期見通し
3. **次期中期経営計画の策定について**

現・中計(07~09年度)の基本方針

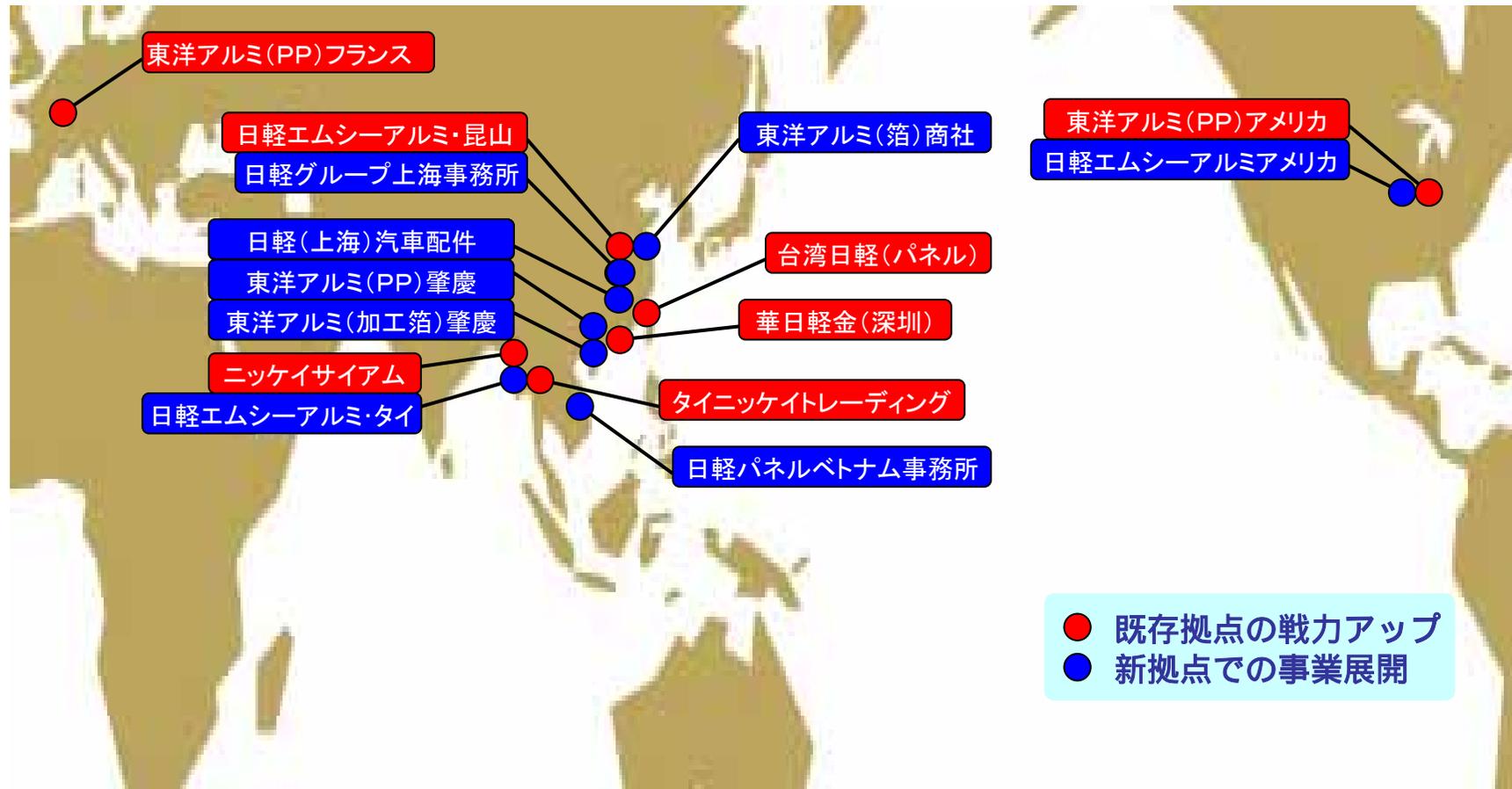
- ① 成長分野への積極的な経営資源投入による事業領域の拡大
- ② 基盤ビジネス分野における需要創造と収益力強化
- ③ 海外ビジネスの積極的な展開
- ④ 素材技術の一層の充実
- ⑤ 建材事業における事業構造改革の完遂
- ⑥ 成長の実現を確たるものとする人材の育成
- ⑦ コーポレートガバナンスの充実とCSR推進
- ⑧ 財務体質の改善と積極的な株主還元

現・中計における実施項目

- 建材事業の構造改革と新日軽(株)完全譲渡基本合意
- 鋳造開発センターおよびグループ技術開発委員会の設置
- 海外展開強化
 - 肇慶東洋鋁業有限公司・・・東洋アルミ・中国拠点(ペースト、太陽電池用バックシート)
 - 日軽(上海)汽車配件有限公司・・・日軽金アクト・中国第2拠点
 - 日軽金上海事務所
 - 日軽エムシーアルミ発足・・・自動車向け合金事業強化(中国、米国、タイ)
- 東海アルミ箔完全子会社化・・・東洋アルミによる箔事業一体運営
- 新製品
 - 太陽電池用バックシート、フレックスキャスト材(ボディー材)、MAXUS等
- 主な設備投資
 - 肇慶東洋:ペースト・太陽電池用バックシート製造ライン、
 - ニッケイ・サイアム:冷間圧延機・仕上設備増強、
 - 化成品:NTマルチプラント増設、日本電極:黒鉛化炉増設等

海外ビジネスの積極的な展開 (F09現在)

差別化素材と高付加価値加工で顧客要求への対応を強化



新・中期経営計画

期間： 2010年度～2012年度(3カ年)

基本方針・・・＜現・中計の基本方針＞を継承

- ・成長分野を攻めるユニットへの資源集中
- ・業界NO.1ビジネスの強化
- ・中国、東南アジアを中心とする海外ビジネス展開加速
- ・要素技術複合化による用途開発と新商品の創出
- ・アルミニウムの特性の追求による地球環境保全への貢献
- ・財務体質改善と復配
- ・人財育成、コーポレートガバナンス充実(・・・07中計からの継承)



アルミにこだわり
アルミを超えていく